

## 製品安全データシート

MSDS No. 0002  
作成日：2015/12/9

### 製品及び会社情報

製品名：Hyaluronan Quantification Kit  
会社名：株式会社 PG リサーチ  
住所：東京都小平市花小金井 4-13-11  
電話番号：042-466-3931  
FAX 番号：042-466-3931  
緊急連絡先：株式会社 PG リサーチ（電話 042-466-3931）  
整理番号(MSDS No.): 0002

## Hyaluronan Quantification Kit Stop Solution

### 1. 危険有害性の要約

#### GHS 分類：

皮膚腐食性/刺激性：区分 2  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分 1  
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分 2(呼吸器系)  
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分 2(呼吸器系、歯)

#### GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報：

重篤な皮膚の薬傷  
重篤な眼の損傷  
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ  
呼吸器系の障害のおそれ  
長期又は反復暴露による呼吸器系、歯の障害のおそれ

#### 注意書き：

##### 【安全対策】

取り扱い後はよく手を洗うこと。  
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
保護手袋、保護衣および保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚（または毛）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。  
症状が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること。

##### 【保管】

施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

廃棄方法に関する規定に従って廃棄する。

### 2. 組成、成分情報

化学名：塩酸  
濃度又は濃度範囲（含有量）：3.6%（水溶液）  
化学特性（化学式）：HCl  
分子量：36.46  
官報公示整理番号(化審法)：1-215  
CAS No.：7647-01-0  
危険有害成分：塩化水素

### 3. 応急措置

#### 吸入した場合：

新鮮な空気の所へ運び、直ちに医師の手当てを受ける。

#### 皮膚に付着した場合：

多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

**目に入った場合：**

直ちに多量の水で15分以上洗い流す。きれいな指で眼の裏をめくって洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。

**飲み込んだ場合：**

口をすすぎ、無理に吐かせてはならない。直ちに医師の手当を受ける。

---

**4. 火災時の措置**

**消火剤：**

周辺火災に適した消火剤を用いる。

**火災時の特有危険有害性：**

刺激性、有毒なガスと蒸気を放出するおそれがある。

**消火を行う者の保護：**

消火活動は風上から行い有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

**5. 漏出時の措置**

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

**環境に対する注意事項：**

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

**回収、中和：**

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。残りは大量の水で洗い流す。

---

**6. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い**

**技術的対策：**

アルカリ性物質との接触を避ける。

**注意事項：**

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

**安全取扱い注意事項：**

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

**保管**

**適切な保管条件：**

換気の良い場所に密閉して保管する。

**技術的対策：**

アルカリ性物質との接触を避ける。

**混触禁止物質：**

金属類、アルカリ性物質

**容器包装材料：**ガラス、耐薬品性のプラスチックなど。

---

**7. 暴露防止及び保護措置**

**設備対策：**

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

**管理濃度 作業環境評価基準：**

設定されていない

**許容濃度：**

ACGIH：STEL C 2ppm

日本産業衛生学会： 5ppm、 7.5mg/m<sup>3</sup>

**保護具：**

呼吸器の保護具： 保護マスク

手の保護具： 不浸透性保護手袋

目の保護具： 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣

---

**8. 物理的及び化学的性質**

形状：液体

色：無色透明

臭い：刺激臭

pH：2（20℃）

融点：データなし  
沸点（初留点）：データなし  
引火点：データなし  
自然発火温度：データなし  
爆発範囲（上限・下限）：データなし  
蒸気圧：データなし  
比重：1.02g/mL  
溶解度  
溶媒に対する溶解性： 水に易溶  
n-オクタノール/水分分配係数 log Po/w： データなし

---

## 9. 安定性及び反応性

安定性：加熱すると塩素ガスを発生する。  
危険有害反応可能性： 通常の処理では起こらない。  
避けるべき条件：日光、熱  
危険有害な分解生成物：塩化水素、塩素

---

## 10. 有害性情報

塩化水素としてのデータを記す。  
急性毒性：経口 ラット LD50: 238-277mg/kg  
経皮 ラット LD50: >5010mg/kg  
吸入 ラット LD50: 3124ppm/1h  
皮膚腐食性・刺激性：腐食性、刺激性を有する。  
眼に対する重篤な損傷・刺激性：重篤な損傷・刺激性を有する。  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：IARCにより Group 3、ACGIHにより A4 に分類されている。  
生殖毒性：データなし  
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：ヒトで吸入ばく露により呼吸困難、喉頭炎、気管支炎、気管支収縮、肺炎などの症状を呈し、上気道の浮腫、炎症、壊死、肺水腫が報告されている。  
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：侵食による歯の損傷、慢性気管支炎の発生頻度増加が報告されている。

---

## 11. 環境影響情報

生態毒性  
魚毒性：データなし  
残留性/分解性：データなし  
生体蓄積性：データなし

---

## 12. 廃棄上の注意

廃棄方法に関する規定に従って廃棄する。

---

## 13. 輸送上の注意

国連番号：1789  
品名：塩酸  
国連分類：クラス 8（腐食性物質）  
容器等級：PG III  
海洋汚染物質：該当  
注意事項：輸送前に容器の破損、腐しよく、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

---

## 14. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当  
労働安全衛生法：法第 57 条の 2(令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物 No.98  
船舶安全法（危規則）：腐食性物質  
航空法：腐食性物質  
海洋汚染防止法：施行令別表第 1 有害液体物質 Z 類物質  
化学物質管理促進法(PRTR 法)：非該当

---

## 15. その他の情報

引用文献：  
1. SIDS(2002)  
2. SIDS(2009)  
3. IARC (2003)  
4. ACGIH (2003)  
5. NITE GHS 分類公表データ

---

Hyaluronan Quantification Kit  
Sample Buffer (2X)  
Blocking Buffer (2X)  
HA Standard  
Biotin-HABP  
HRP-Avidin

## 1. 危険有害性の要約

GHS 分類：

GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報：

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き：

### 【安全対策】

取り扱い後はよく手を洗うこと。  
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
保護手袋、保護衣および保護眼鏡/保護面を着用すること。

### 【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。  
症状が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

### 【保管】

換気の良い場所で密閉して保管すること。

### 【廃棄】

廃棄方法に関する規定に従って廃棄する。

---

## 2. 組成、成分情報

化学名：Proclin 300

濃度又は濃度範囲（含有量）：0.025-0.05%（水溶液）

CAS No.：55965-84-9

---

## 3. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気の所へ運び、直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合：

直ちに多量の水で15分以上洗い流す。きれいな指で瞼の裏をめくって洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすぎ、無理に吐かせてはならない。直ちに医師の手当を受ける。

---

## 4. 火災時の措置

消火剤：

周辺火災に適した消火剤を用いる。

---

## 5. 漏出時の措置

適切な保護具を着用し、不活性な吸収材に吸収させる。

---

## 6. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項：

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。  
使用後は容器を密閉する。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗う。

安全取扱い注意事項：

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件：

換気のよい場所に密閉して保管する。

容器包装材料：ガラス、耐薬品性のプラスチックなど。

---

## 7. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策：

十分な換気を確保すること。

### 管理濃度 作業環境評価基準：

設定されていない

### 許容濃度：

情報なし

### 保護具：

呼吸器の保護具： 保護マスク

手の保護具： 不浸透性保護手袋

目の保護具： 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣

---

## 8. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：情報なし

臭い：情報なし

融点：データなし

沸点（初留点）：データなし

引火点：データなし

自然発火温度：データなし

爆発範囲（上限・下限）：データなし

蒸気圧：データなし

溶解度

溶媒に対する溶解性： 水に易溶

---

## 9. 安定性及び反応性

安定性：通常条件下では安定。

危険有害反応可能性：通常の処理では起こらない。

危険有害な分解生成物：通常条件下ではない。

---

## 10. 有害性情報

急性毒性：経口 ラット LD50: 53mg/kg

経皮 ラット LD50: データなし

吸入 ラット LD50: 1.23mg/L

生殖細胞変異原性：なし

発がん性：なし

生殖毒性：なし

皮膚感作性：なし

特定臓器への影響：通常の使用下における影響は知られていない。

---

## 11. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：データなし

残留性／分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

---

## 12. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄方法に関する規定に従って廃棄する。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

## 13. 輸送上の注意

国連番号：3373

品名：Biological Substance, Category B

国連分類：クラス 6.2

容器等級：なし

---

## 14. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進法(PRTR法)：非該当

---

## 15. その他の情報

本データシートは、試薬に関する一般的な取扱いを最新の情報に基づいて記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。